

2026年5月12日

2026年度統計関連学会連合大会のお知らせ（第三報）

運営委員長	中村智洋	(京都女子大学)
実行委員長	富田 誠	(横浜市立大学)
プログラム委員長	金森敬文	(東京科学大学)

2026年度統計関連学会連合大会について、現時点での進捗状況をご報告いたします。今大会は、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会主催により開催されます。初日の9月6日(日)はチュートリアルセッション・プレイベント・市民講演会、2日目以降(9月7日(月)～10日(木))は一般講演や企画セッションなどを、ハイブリッド方式(現地参加を基本としつつ、一部オンライン会議ツールによるオンライン参加)で開催する予定です。

この第三報では、チュートリアルセッション、プレイベント、市民講演会、プレナリーセッション、企画セッション、コンペティションセッションなどの概要を項目ごとにご紹介いたします。

1. 講演申込期間のご案内

講演申込の期間については4月25日(土)から受付を開始しています。講演申込はConfitというWebシステムを使いますので、連合大会ウェブページから行ってください。(講演申込は5月16日(土)17:00まで(厳守)、となります。)

2. 大会日程、開催場所、各種受付期間

大会日程	9月6日(日)：チュートリアルセッション、プレイベントと市民講演会 9月7日(月)～10日(木)：本大会
開催場所	横浜市立大学(金沢八景キャンパス)
主催	応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会
講演申込	4月25日(土)～5月16日(土)17:00 厳守
報告集原稿提出	5月17日(日)～6月9日(火)17:00 厳守
事前参加申込(割引料金)	5月18日(月)～8月7日(金)13:00 厳守
通常参加申込(通常料金)	8月7日(金)13:00 過ぎ～当日 (注意：当日は現金保管等のセキュリティ面を考慮して、現地会場では参加申し込みは受け付けません。ご了承ください。)

3. 講演の申込

講演には次の種類があります。

- ・一般講演
- ・企画セッション講演
- ・コンペティション講演

申込方法はすべての講演に共通の事項と種類ごとに異なる事項があります。ご注意ください。

(1) すべての講演に共通の事項

講演をご希望の方は、連合大会のウェブページからお申し込みください。これ以外の申込方法はありません。申込ページでは「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」のいずれかを選択してください。原則として申込は講演者が行ってください。ただし、「企画セッション講演」に限り、オーガナイザーが講演者に代わって申し込むことも可能です。

(2) 「一般講演」に関わる事項

通常の講演は「一般講演」として講演者がお申し込みください。ウェブページ上の講演申込手順に従って申込をしてください。プログラム編成の際の参考にしますので、関連分野を第一希望から第三希望までご選択ください。また講演者（連名講演者を含む）のうち少なくとも1名は主催6学会のいずれかの会員であることが要件です。

(3) 「企画セッション講演」に関わる事項

企画セッション講演者は、予めオーガナイザーから連絡を受けた整理番号に対応するセッションを申込ページの整理番号欄にて選択してください。例えば、整理番号が12であると連絡を受けた講演者は「企画セッション講演 12」を選択してください。なお企画セッション講演者（連名講演者を含む）については、主催6学会いずれかの会員であることを要件としません。

オーガナイザーが代理で申し込む場合は、それぞれの講演の申込を1件ずつお願いいたします。

(4) 「コンペティション講演」に関わる事項

コンペティション講演は研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画です。参加資格は次のいずれかの条件を満たす方です。

(a) 2026年4月1日時点で30歳未満の若手研究者（博士後期課程院生を含む）

(b) 講演時に学部学生や修士課程（または博士前期課程）院生（年齢は問いません）

上記(2)と同様に、関連分野を第一希望から第三希望までご選択ください。

連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方です。またコンペティション対象者は講演申込時に主催6学会のいずれかの会員でなければなりません。ただし入会申請中の方も認めます。プログラム委員会から各学会事務局に会員照会し、会員（もしくは入会申請中）でないことが判明した場合はコンペティションへのエントリーを取り消しますので十分にご注意ください。**講演申込締切日までに会員もしくは入会申請中の状況にしておいてください。**

審査は複数名の審査委員による評価に基づいて実施する予定です。審査では研究内容とともに、研究発表のプレゼンテーションについても評価します。発表者が十分に準備・工夫し、充実したプ

レゼンテーションであることを期待しています。原則として、最優秀報告者1名、優秀報告者数名程度を選考します。選考はプログラム委員会で行います。

コンペティションセッションは9月7日(月)～9日(水)(予定)に現地対面の形式で開催し、9月10日(木)に表彰式を行う予定です。なおコンペティション応募総数は年々増加傾向にあり、プログラムを組むのが難しくなっています。したがって、今年度も申込順で受け付け、応募状況によってはコンペティション参加件数を制限することがあります。

(5) 講演言語の選択欄

講演申込のページの講演言語欄では、「日本語・英語のどちらでもよい」、「日本語」、「英語」、のいずれかを選択してください。

(6) 希望発表形式の選択欄

企画セッション講演と一般講演は「オンライン」(オンラインでの遠隔からの発表)、または「現地」での発表のいずれかを選択してください。コンペティションセッションでは、【「現地」のみ】での発表となります。「オンライン」での発表はございませんのでご注意ください。

4. 講演報告集用原稿の提出

(1) 「一般セッション講演」、「コンペティション講演」に関わる事項

報告集用の原稿はA4サイズで1ページです。インターネット経由で電子ファイル(PDF形式)を提出していただきます。「2. 大会日程・開催場所・各種受付期間」をご参照の上、原稿提出期間を厳守してください。今年度の予稿集は昨年度と同様に、【紙媒体での配布はせずに、オンラインのみでの閲覧・配布】となります。昨年度までの各講演のPDF閲覧・配布と同様に、予稿集全体をシステムにログイン後に閲覧・配布となります。オンライン上の予稿集での公開を希望されない場合はタイトルと著者名みのみのページとしますので、報告用原稿提出時にその旨ご指示ください。

(2) 「企画セッション講演」に関わる事項

原則として、講演者が提出してください。書式・提出期間等は上記(1)と同じです。オーガナイザーが代理で提出する場合は、セッション内の各講演について、上記(1)と同様にして1件ずつ原稿を提出してください(「3. 講演の申込 (3) 「企画セッション講演」に関わる事項」も参照)。その場合、オーガナイザーは期限内に原稿を提出できるようなスケジュールで講演者に原稿作成・提出を依頼してください。詳細は別途オーガナイザーに送付している資料等をご参照下さい。

(3) すべての講演に共通の事項

講演種別にかかわらず、ご希望の方は報告集用原稿とは別に、各講演のページに掲載する詳細論文を受け付けます(A4サイズ、最大10ページまで、PDF形式、ファイルサイズは1MB以内、フォント埋め込み)。詳細論文ファイルを上記(1)と同じタイミングで提出していただきます。報告集用原稿および詳細論文の執筆要領については、上述の連合大会ウェブページをご覧ください。

(4) その他

別途購入費が必要となりますが、希望者には講演報告集を郵送にてお届けする予定です。希望される方は連合大会ウェブページにて詳細をご確認ください。

5. 企画セッションのご案内

学会や個人等から申請のあった29件の企画セッションが予定されています。整理番号、テーマ名、オーガナイザーの氏名・所属は以下の通りです。各テーマのねらいや講演者・講演タイトルなどについては、後日連合大会のウェブページに掲載される情報をご参照ください。

なお、企画セッションの運営はオーガナイザーに一任していますので、テーマについてのお問い合わせは各オーガナイザーにお願いいたします。企画セッションの日程はプログラム作成時に決定いたします。

(整理番号)、テーマ名(セッション名)、オーガナイザー(敬称略、所属は申込情報を基に作成)

- (1)日本計量生物学会奨励賞受賞者講演(口羽文(帝京大), 伊藤ゆり(大阪医科薬科大), 川口淳(佐賀大), 島津秀康(北里大), 田栗正隆(東京医科大), 室谷健太(久留米大), 横田勲(北海道大))
- (2)統計数理研究所医療健康データ科学研究センター「医療健康データ科学のフロンティア」(松井茂之(京都大・統計数理研究所), 伊藤陽一(北海道大学病院), 田栗正隆(東京医科大), 江村剛志(広島大))
- (3)統計エキスパート人材育成ー統計知の深化と高度活用ー(水田正弘(統計数理研究所))
- (4)日本産業規格地域メッシュコード(JIS X 0410:1976) 50周年～これまでとこれから～(佐藤彰洋(横浜市立大))
- (5)パネル討論 討論テーマ「地域メッシュコードのこれまでとこれから」(佐藤彰洋(横浜市立大))
- (6)プロモーションセッション(林邦好(京都女子大))
- (7)統計のタイムリーな見直しー経済変貌の的確な捕捉を目指してー(肥後雅博(東京大))
- (8)日本計量生物学会シンポジウム「AI時代になぜデータ同化なのか?」(櫻井玄(農研機構), 川口淳(佐賀大))
- (9)抗がん剤の臨床開発における最近の統計的諸問題(弘新太郎(ファイザーR&D 合同会社), 河合統介(ファイザーR&D 合同会社))
- (10)医薬品開発への生物統計家の貢献ー産官学による「データサイエンスラウンドテーブル会議」の活動と今後の展望(松井茂之(統計数理研究所), 伊藤陽一(北海道大), 山本英晴(中外製薬), 土屋悟(住友ファーマ), 菅波秀規(興和), 富金原悟(小野薬品工業), 安藤友紀(医薬品医療機器総合機構))
- (11)応用統計学会企画セッション「選択的推論の最近の展開」(川野秀一(九州大), 長尾大道(東京大))
- (12)応用統計学会学会賞受賞者講演(松井秀俊(滋賀大), 星野崇宏(慶応義塾大))
- (13)日本統計学会各賞授賞式・日本統計学会各賞受賞者記念講演(1)(青嶋誠(筑波大))
- (14)日本統計学会各賞授賞式・日本統計学会各賞受賞者記念講演(2)(青嶋誠(筑波大))
- (15)歯科×統計・データサイエンス:実践と歯科領域からの期待(高橋邦彦(東京科学大), 口羽文(帝京大))
- (16)データサイエンス系学部の現況(植木優夫(長崎大), 柴田裕一郎(長崎大))
- (17)スポーツデータサイエンス(酒折文武(中央大))
- (18)生成AI時代のデータサイエンスにおける統計学の役割(上田雅夫(横浜市立大))

- (19)アジアの公的マイクロ統計の活用（馬場康維（統計数理研究所），岡本基（統計数理研究所））
- (20)医療・健康データにおける異質性の理解とその臨床的・社会的応用（新井崇弘（多摩大），大澤麻衣子（埼玉医科大））
- (21)大規模データに対する差分プライバシーの有効性の追究（佐井至道（岡山商科大），星野申明（金沢大），伊藤伸介（中央大））
- (22)AI 時代をどう生きるか？ 統計科学は何をすべきか（矢野恵佑（統計数理研究所），今泉允聡（東京大），Stephen Wu（統計数理研究所），菅澤翔之助（慶應義塾大），奥野彰文（統計数理研究所））
- (23)公的統計における2次的利用の新展開とプライバシー保護研究の最新動向（南和宏（統計数理研究所），伊藤伸介（中央大），高部勲（立正大），千田浩司（群馬大））
- (24)日本統計学会統計教育委員会企画—変革するデータサイエンス人材像と高大接続・文理融合に向けた教育体系再構築—（竹内光悦（実践女子大），藤井良宜（宮崎大），渡辺美智子（立正大））
- (25)臨床領域にかかわる統計家に求められる倫理と責任（吉村健一（名古屋市立大），大津洋（順天堂大））
- (26)最先端情報科学・統計学が牽引する地震研究の最前線（長尾大道（東京大），加藤愛太郎（東京大），矢野恵佑（統計数理研究所））
- (27)横浜市立大学のデータサイエンス教育（佐藤彰洋（横浜市立大））
- (28)赤池メモリアルレクチャー（鎌谷研吾（統計数理研究所））
- (29)International Journal: JJSD Session by JSPS KAKENHI Grant Number 24HP2004（清智也（東京大），江村剛志（広島大））

6. チュートリアルセッション・プレイベント・市民講演会・プレナリーセッションについて

・チュートリアルセッション

今回のチュートリアルセッションでは、科学研究における「再現性」の問題を統計学の視点から見直します。2016年のASA声明以降の議論を整理するとともに、AIや機械学習の普及を踏まえ、評価法、ベンチマーク、報告の透明性に関する要点を概観します。

オーガナイザー：金森敬文（東京科学大学）

日時：2026年9月6日（日）13時00分～16時00分

- 第一部
講演者：佐藤 俊哉 先生（統計数理研究所／滋賀大学）
タイトル：Before, After – ASA 声明、その後
- 第二部
講演者：大関 洋平 先生（東京大学／国立情報学研究所）
タイトル：再現性と自然言語処理

・プレイベント

「統計・データサイエンス力向上のための授業に係る優秀事例表彰」の2025年度受賞者による講演セッションを、2026年9月6日（日）に、プレイベント（参加費無料）として実施いたします。

・市民講演会

今回は、後藤温先生（横浜市立大学 医学研究科長・公衆衛生学教室 主任教授）にご講演いただきます。後藤先生は同大学院データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻の専攻長（二代目）も務められ、医学部とデータサイエンスを繋ぐ重要な役割を果たされました。今回も興味深い内容を講演される予定です。もちろん、どなたでも無料ですので奮って参加下さい。

日 時: 2026年9月6日（日）16時30分～18時00分

タイトル: データサイエンスとともに拓くヘルスウェルビーイングなヨコイチ

・プレナリーセッション（赤池メモリアルレクチャー）

「赤池メモリアルレクチャー賞」は2016年5月に統計数理研究所と日本統計学会により共同で設立されました。統計科学の分野において多大な功績を残し、その発展に大きな影響を及ぼした故赤池弘次博士の功績を記念したものです。今年度の第6回受賞者は Christian P. Robert 博士（Université Paris-Dauphine-PSL, University of Warwick）に決定し、2026年度統計関連学会連合大会のプレナリーセッションにおいて記念講演を行います。講演は英語で行われます。

日 時: 2026年9月7日（月）10時00分～12時00分

オーガナイザー: 鎌谷研吾（統計数理研究所）

司 会: 青嶋誠（統計関連学会連合 理事長）

座 長: 山下智志（統計数理研究所 所長）

講演者: Prof. Christian P. Robert (Université Paris-Dauphine-PSL, University of Warwick)

タイトル: TBA

指定討論者: 矢野恵佑（統計数理研究所）、菅澤翔之助（慶応義塾大学）

講演は現地（ハイブリッド参加可）にて英語で行われます。

7. 参加申込と大会参加費

参加登録については大会ウェブページからの申込のみとなります。現地での参加申込受付は致しません。円滑な大会の運営のためにも、また参加費割引のためにも、事前参加申込をご利用ください。受付期間は「2. 大会日程、開催場所、各種受付期間」を参照してください。事前参加申込の場合、参加費が大幅に割引になりますのでぜひご利用ください。

大会参加費（報告集代を含む）

	事前参加申込	通常参加申込
一般（主催6学会の会員）	7,000円	10,000円
学生（会員・非会員を問わず）	3,000円	8,000円
一般（非会員）	15,000円	20,000円

チュートリアルセッション参加費（資料代を含む）

	事前参加申込	通常参加申込
一般（主催6学会の会員）	3,000円	4,000円

学生（会員・非会員を問わず）	2,000 円	3,000 円
一般（非会員）	6,000 円	8,000 円

懇親会参加費

	事前参加申込	通常参加申込
一般（会員・非会員を問わず）	8,000 円	10,000 円
学生（会員・非会員を問わず）	4,000 円	5,000 円

※運営上の都合により、懇親会参加申し込み受付を打ち切る場合があります。ご参加をご予定の方はお早めにお申し込みください。

【注意】

- (1) 講演申込をされた方も参加申込の手続きが必要です。
- (2) これまでの大会と同様に、事前申込のキャンセルと変更は認められません。
- (3) 主催 6 学会の会員以外の方が企画セッションや特別セッションでオーガナイザーから依頼されて講演される場合、大会参加費は無料となります。
- (4) プレイベントおよび市民講演会は無料です。
- (5) 報告集およびチュートリアルセッション資料の紙媒体での購入をご希望される場合は、参加登録のページからお申し込みください。
- (6) 昨年度と同様に、企画セッションでのオンラインでの発表者の方にはチュートリアル・市民講演会の開催日（9月6日（日）、予定）にテスト会場を準備する予定となっておりますので、ご利用ください。

8. 宿泊・アクセス案内

今大会では宿泊の斡旋はいたしません。各自で早めに宿泊の予約をお済ませください。大会会場の横浜市立大学金沢八景キャンパスへのアクセスについては上述の連合大会ウェブページをご覧ください。

9. 託児施設の利用案内

今大会では、託児設備を大会会場キャンパス内に設けます。詳細は、5月上旬頃に 2026 年度統計関連連合大会の「宿泊・託児利用補助」のページに掲載する予定です。

大会期間中、費用は無料で小学生までお預かりすることができます。託児施設の利用を希望される方は、申し込み締め切りは 2026 年 8 月 7 日（金）13 時ですが、予算の関係上、定員になり次第、締め切りますので、お早目にお申込みください。

託児に関する問い合わせ先

担当: 2026 年度統計関連学会連合大会実行委員会

E-mail: jikkou2026(at)jfssa.jp (at)を@に置き換えてください。